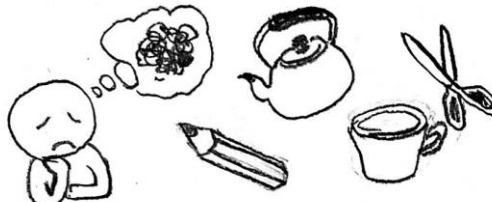

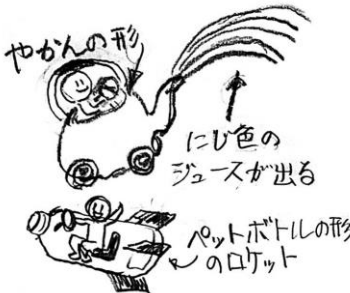


【めあて】ふしぎな乗りものやお話しを考えよう。		休校中のかだい
図工	5月	ふしぎな乗りもの
用意するもの	☆教科書 図画工作3・4上 ☆筆記用具（えんぴつ、あれば色えんぴつ、色マジックなど） ☆ノート（自由ちょうなど）	
活動①	教科書P16・17の「ふしぎな乗り物」を読んでみよう。	
活動②	だれも見ることがない、ふしぎな乗りものを考えよう。どんなものが乗りものになったら楽しいかを考えよう。	
	<p>考えが浮かばない時は、身のまわりにあるものを乗りものにしてみたり、お話しを先に考えてみると、ふしぎな乗りものが思いつきやすいよ。</p>	
		<p>☆海に絵がかける乗りもの ☆地下にもぐれる乗りものでアリの世界に行く。</p>
活動③	自分が考えたものを絵にしてみよう。（絵にうまく表せない人は文で書いてもいいよ。） 色もぬってみよう。（色をぬる道具がない人は白黒でもいいです。）	
	<p>らくがきのように思いつくままをたくさんかいていこう。自分の考えたふしぎな乗りものどくちょうやおもしろいところも絵にメモしておこう。</p>	
	 <p>ポンキのハケの形 海の中に色がつく それで魚のゆうえんちをつくる</p>	 <p>やかんの形 にじ色のジュースが出る ペットボトルの形のロケット</p>
	このアイデアは図工のじゅぎょうで使いますので、ノートにアイデアをどんどんためておきましょう。	
提出日	学校のじゅぎょうで「図工」が始まったとき（またれんらくします）	